

けいせん

# 議会だより

Vol.5



総務経済建設委員



委員長

委員長



税務課

保険環境課



文教厚生委員

## 連合審査会

### 継続審査報告

議案第30号 桂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

総務経済建設委員会において閉会中もなお継続審査を要するものと決定しました議案第30号につきまして、審査の経過をご報告いたします。

本案は、さる12月12日の本会議において当委員会に付託され、16日、午前10時から開会しました文教厚生委員会との連合審査会において、担当課長、課長補佐からの説明を受け、審査をいたしました。

連合審査会において、担当課長から、桂川町国民健康保険事業は、地域住民の生命と健康を守るため、地域医療に対し、大きな役割を担ってまいりましたが、今日において被保険者の高齢化も進む中、平成23年度から、支払準備基金を取り崩し収支の均衡を保ってきましたが、基金残高も底をつき、医療費の増加は避けられない状況であるとの説明があり、国民健康保険運営協議会からも、国保税率の引き上げはやむを得ないものとの答申が出されました。

しかしながら、総務経済建設委員会では国民健康保険被保険者の皆様には、生活に影響する問題でありますので、継続して審査をしたいという多数の意見もあり、全員一致をもって、継続審査と決定いたしました。

なお、閉会中の継続審査にあたっては、文教厚生委員会との連合審査会で審査を行うことを双方の委員会で確認をいたしました。

総務経済建設委員長 竹本慶吉



# 一般質問

12月定例会で次の議員が一般質問しました。  
議員が町の行財政全般について執行部に説明を問うものです。  
紙面の都合により、一般質問の内容を要約して記載しています。



大塚和佳議員

## 桂川町自治基本条例の住民への周知について

問 「桂川町自治基本条例」は、平成26年11月号の「広報けいせん」で、住民自治を推進するための基本となる理念や原則、方針等を明らかにし、平成26年9月町議会定例会において修正可決され、平成27年4月1日から施行される。なお、桂川町公式ホームページに条例と条例解説を掲載しているところがあるが、全ての町民の皆さんがインターネットを通して「桂川町公式ホームページ」を見ることができているのか。また、「広報けいせん」での掲載のみで良いのか。

答（江藤健康福祉課長） 平成23年度～平成32年度間の桂川町を見据えた「第5次桂川町総合計画」にも記載してあるように、いつまでに、どのように周知・啓発していくのか。

また、町内の全行政区とは言わないが、少なくとも防災区7か所程度に集約された住民対象の説明会を開き、住民の皆さん一人ひとりが参画し、理解していただくためにも「住民説明会」を開くことが重要ではないか。

答（井上町長） 自治基本条例及び解説文を含めパンフレット等を作成し、全戸配布したい。また、住民への周知については検討していく。

問 夕方暗くなると「危ない」という声を聞いたことはないか。照明の改善を考えているのか。

答（江藤健康福祉課長） ひまわりの里は築14年経過し、現在、施設内部、機械設備を優先し、老朽箇所を計画的に改修している。

高齢者の利用が多い施設であり、安全面の配慮も重要であるので、外灯の増設を行う予定である。

## 福祉バスの飯塚嘉穂済生会病院乗り入れについて

問 済生会病院への乗り入れを求める声が多いが、桂川町として実現に向けて、どういう取組をして来たか。

答（健康福祉課長） 平成23年に、「桂川町福祉バス見直し検討委員会」において、1日の便数を5便から7便に増便、町内循環型の買い物通院バスの運行を決定し、平成24年度より開始している。

町外の医療機関や大型店舗への運行要望等もあったが、平成6年運行開始当初の西鉄バスとコースが重複しない取りきめに基づき、町外運行は行わないとの判断がされている。

改善可能な件については関係機関と協議を行っていきたいと考えるが、現在のところ、町外への福祉バスの運行は難しいと判断している。

## 子どもの医療費助成拡充について

問 2015年1月から入院医療費助成は中学3年生まで行われるが、通院医療費の助成について町長はいつから始めようと思っておられるか。

答（井上町長） 2015年1月から町独自に助成を行うことを決定したばかりなので入院の実績を見ながら通院についても考えていきたい。現在の段階ではいつ



杉村明彦議員

## 5歳児健診の推進について

問 発達障害の早期発見・早期治療の観点から、5歳児健診の実施を目的に現在の母子保健法の規定により桂川町の保健事業の中で実施されている乳幼児健診の実施状況を担当課長に尋ねたい。

答（江藤健康福祉課長） 5歳児健診の推進の主たる目的は3歳児健診までに見逃された軽度の発達障害の発見ではないかと思われる。当町としては、健診のスタイルをとらずに個別の相談スタイルを現在実施している。個別の相談については集団健診の会場で実施することに比べて、対象となる子供の観察や保護者への聞き取り、今後のアドバイスなど時間をかけて丁寧に行われることがあげられる。本町としては法定の乳幼児健診と合わせて個別健診の充実、支援を行っていきたいと考えている。

## 胃がん検診について

問 桂川町で実施されている胃がん検診の内容について、尋ねたい。

過去には、胃がんになる原因としては、食塩の取り過ぎが挙げられていたが、近年、国際がん研究機関が十分な

からと明言できない。

## 町長の町政運営について

問 町長の基本的立場とされている福祉、教育、コミュニティの充実、つまり住民のために良い事をする為には情報が必要である。町長の審議機関は公開をすべきではないか。「公開を原則とする」という町長の答弁を求める。

答（町長） いろんな審議会があり協議の中身によってはそういう場合もある。私自身がすべてに関わっているわけではない。それぞれの委員会・審議会の委員長・会長がおられる合議の中でそういった方法が決められていくと認識している。ただ、全体の流れとしては公開を進めていく必要があると思っている。



竹本慶吉議員

## 農地法改正について

問 町長は町政報告で本年4月に改正された農地法について述べられた。この改正された要点について担当課長の説明を求めたい。

答（古野産業振興課長） 農業委員会が農地に関する事項を記録した農地台帳及び地図を整備しこれを公表することとされた。

問 今般衆議院の選挙が行われたが、課題の多い農政やTPP問題には一切触れず、戸別所得補償制度が廃

証拠に基づいて発表している「ヘリコクター・ピロリ」と言うピロリ菌が胃がんの原因であると結論づけている。

胃がんを誘発するピロリ菌に感染しているかどうかは、血液検査で簡単に調べられ、感染がわかった場合は、抗生物質などによる除菌治療を行うことができる。今後の胃がん検診の項目のなかにこの血液検査の項目を加え、胃がんの予防対策としてみてはどうか。担当課の考えを尋ねたい。

答（健康福祉課長） ピロリ菌検査では、死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分であるために、国は現在のところ集団健診として実施することは推奨していない。

現在の桂川町のがん検診の在り方を検討した場合に、会場の設定や従事スタッフ配置などクリアすべき課題が多く、ピロリ菌検査を否定するものではないが、ピロリ菌検査をするよりも現行の胃部X線検査の受診率を向上させたほうが、がん予防に大きく寄与するのではないかと考えている。



吉川紀代子議員

## ひまわりの里入口の夜間照明について

止されるなど政策は悪化し内容は農業の集約化に向っている。今後も離農する方や耕作放棄を防ぐ意味から、多くの担い手の育成が必要と考える。仲介者として農業委員会の活用をどの様に考えているか。

答（井上町長） 現在国が進めているのは競争力のある農業、農家の大規模化。小さくても特色のある農業を求めている。今後も農業委員会の力を借りながら進めて行きたい。

## 特別職の給与について

問 この件は現在町長・副町長が15%の削減、教育長は10%の削減で今日に至っている。当時町長は、自分の間この削減率を維持すると発言されたが、報酬審議会の開催は考えているのか。

答（町長） 平成23年3月議会でも当分の間と答弁した。この時当分の間とは「どの期間か」との再質問に対し「私の二期目任中です」と答弁した。報酬審議会の開催は考えていない。

## 各種審議会・委員会等の報酬について

問 この件については、大幅削減をして10年以上経過していると思うが、現在の経過を把握していれば報告して頂きたい。

答（大塚総務課長） 審議会報酬及び費用弁償については、平成17年度半額に削減し平成22年度にこの削減額の半額を戻し現在に至る。

問 町民の方の協力に対し早く元に戻すべきでは。

答（町長） 一般町民の方の参加は、今後ともお願いしたい。方向性は前向きに検討していく。





# 12月定例会で審議された結果



【議案】	件名	付託委員会審査結果	審議結果
同意第6号	桂川町教育委員会委員の任命	—	【同意】
承認第10号	平成26年度桂川町一般会計補正予算(専決第1号)	—	【承認】
議案第29号	桂川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会 (全員賛成)	【可決】
議案第30号	桂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	総務経済建設委員会	【継続審査】
議案第31号	桂川町重度障害者医療費の支給に関する条例及び桂川町営住宅条例の一部を改正する条例の制定	文教厚生委員会 (全員賛成)	【可決】
議案第32号	桂川町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	文教厚生委員会 (全員賛成)	【可決】
議案第33号	桂川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	文教厚生委員会 (全員賛成)	【可決】
議案第34号	平成26年度桂川町一般会計補正予算(第4号)	総務経済建設委員会 (全員賛成) 文教厚生委員会 (全員賛成)	【可決】
議案第35号	平成26年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)	総務経済建設委員会 (全員賛成)	【可決】
議案第36号	平成26年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	文教厚生委員会 (全員賛成)	【可決】
議案第37号	平成26年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	文教厚生委員会 (全員賛成)	【可決】
議案第38号	平成26年度桂川町水道事業会計補正予算(第2号)	総務経済建設委員会 (全員賛成)	【可決】
追加議案			
意見書案第4号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書(案)	—	【可決】
請願第4号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願	—	【みなし採択】

桂川町議会では、平成27年1月6日、井上町長、瓜生教育長、町管理職の出席のもと、新年祝賀式を開催しました。祝賀式では、井上町長、原中議長から国が推進する地方創生に向けての対応、町の重点施策への取り組みなど、年頭の挨拶を受けました。

## 平成27年 新年祝賀式を開催



井上町長、原中議長の年頭あいさつ(町役場3階会議室)

## つぶやき

NHKの大河ドラマ「花燃ゆ」が今年から始まりました。松下村塾という私塾を主宰した吉田松陰の妹・文の物語です。第1回から引きつけられました。その中で寅次郎(松陰の幼名)は文に言います「至誠にして動かざるは、いまだこれあらざるなり」と。これは孟子の言葉で、「誠意を尽くして物事にあたれば、どのようなものでも必ず動かすことができる」という意味です。松陰はこの言葉を愛用したそうです。

林 英明